



2021年 8月 3日
第10号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



退職者懇談会を開催しました



7月の退職者懇談会を開催し、国府津車両センター分会の山本敏文さんが参加されました。

山本敏文さんから「国鉄改革時、スズキ浜松工場への派遣に応じた。同期は仲間のために早期退職を選んだ。選択肢のある自分は派遣から広域異動に応じ米子から大船電車区に来た。同期の存在があって今の自分がいる。なぜJR東労組の組合員でいるか。それは、席を空けるために辞めた人がいる。裏切れないからだ」「冠婚葬祭、特に苦しいことはみんなで支えるものであり、組合としてやるべきもの」「個人の気持ちが奮い立たない限り団結はない。人任せにしては駄目。勉強会や職場集会など、お互いの気持ちがわかりあえる人を育てる場が必要」と、この間の思いを含め、私たち現役に対するメッセージをいただきました。

後輩の国府津車両センター分会・山本純一分会長からは「作業責任者で来られて、本体の制服からJETSの制服を着たままエルダーになられた。自分の意思に反して組合から離れた人たちとの会話は欠かせない。今後も分会の支援をいただきたいし、若い仲間たちに過去の経験をお話してもらいたい」と先輩への感謝とお祝いの言葉をおくりました。



本部・佐藤中央執行委員長から花束を受け取る山本敏文さん

またお忙しい中、佐藤中央執行委員長に駆けつけていただき、本部かんり部会長を務める山本敏文さんに、長年のご苦労に対する感謝の花束を贈呈しました。

横浜地本は、今後も組合員と共に、安全で働きやすく楽しい職場をつくっていきます。

山本敏文さん、長い間お疲れさまでした！

組合員の雇用と生活を守るために
これからも共に奮闘していきましょう！